

ライオン学校伝書鳩通信

～ライオン学校のみんなに会いに行って来ました～



活動全体の様子（H24.5.26）

25日、夜行バスに乗り、1カ月ぶりに石巻に向かいました。ライオン学校の生徒達は前回のように大喜びで出迎えてくれるのかなと予想をしながらサポートセンターに到着しました。今回、いつもお借りしているサポートセンターには先約があり、他団体が活動している部屋の一部分を必要なら使わせてもらうという予定でした。ライオン学校は午後集合になっているのにも関わらず、他団体のイベントに参加するためか、私達を待っていてくれたのか低学年の子供達が賑やかに迎えてくれました。

そして午前中の家庭訪問の始まりです！私達が気になる家庭を訪問すると子供たちは留守ばかり！「今日来ることは伝えてあるのに、いつもと違う！」そんなことを思っていると、ライオン学校の生徒5、6人で釣りに行っているという情報！私たちがいなくても子供達だけで遊んでいる、ライオン学校で出会った子供たちは学年を問わず、確実に「友達」になっていると感じられました。「もう私たちが来なくても子供だけで遊べている」今日は会えないかもしれないと少し寂しい気持ちもありましたが、ライオン学校を通して生まれた関係を嬉しく思いました。

しかし、釣りに行っていた子どもたちは午後にはライオン学校にやってきました。「午前中は釣りに行って、1時からライオン学校」と決めていたようです。遠くに住んでいる子どもたちも、保護者の方に送ってもらいみんなサポートセンターに集合！集まったみんなは元気元気！企画していた「お散歩」に行きました。お散歩は前にも行ったことのある水切りができる場所に行ったのですが私たちの心配をよそに危ないところに率先して行き、ハラハラさせられました。一部の子はカニや虫を見つけて「これなんだろう？」と集まって話をしていました。



サポートセンターに戻り、ドッジボールをする子・中で家づくりをする子に分かれ遊びました。いつもは中で遊ぶ小5の女の子はドッジがとても楽しかったらしく、「私、外遊びが今日で好きになった！」と笑顔で何回も言ってくれました。



そしていつもの恒例となった「振り返り」の時間、遊んでいる中、「振り返りをやるよー」と私たちが声をかけても、嫌がる様子は見られません。「ペアはだれー？」「早くやっちゃいたい」そんな子供たちの様子からと私たち大学生のことを【相談できる、話を聞いてくれる大人】として迎え入れてくれているのだなとひしひしと感じました。

前回の支援はサプライズだったから「大歓声」、今回は来ると分かっていたから「安心して受け入れる」、また次もくるよという事実が子供たちに安心を与えている、そんなことを考えながら一人ひとりに「またねー」と声をかけてお別れしました。

復興の行き詰まり…

支援の最初から参加している仮設住宅にお母さんと2人で住んでいる小学校3年生の男の子が「僕も行く!」と言って、私たちの家庭訪問に遠くまで自転車を一生懸命こぎながらついてきました。途中、「僕の前のおうちを案内するー」と言ってその子についていくと整備されている道路側には新しい今風な家が建っていました。しかし海側に向かうにつれ、泥をかき出しただけの全壊・半壊したおうちが多数ありました。その地域だけがそのまま取り残されている、そんな印象でした。小3の男の子の家も壁や物がなくなった、そのままの状態でした。「泥棒入ってるんだろーなー、アルバム探すー」と言って荒れた家の中に入っていました。先週も一人で来たと言っていました。その様子を私たち大学生はただただ「入って!」と言われた所に立ち、子供の言葉に反応することしか出来ませんでした。

建築制限が定まっているのか、家の持ち主が今の生活に追われており、手がつけられないのか、理由は分かりませんが、ここに来て「格差を超えた格差」が顕著にあらわれているように感じられました。

学校でのいじめ

子供たちが振り返りの時に話してくれた内容は私たちにとって「良かった」と思えることも「苦しい」と思えること、様々なことがあります。学校で辛いいじめを受けている子がいます。その子は、ほんの少しの涙を流し、無表情ですべての苦痛を飲み込んでいます。「辛さ」に対して鈍くなっているということ、すぐに解決出来る問題ではないことも分かります。どうすればその子がこれから少しでも幸せに生きていけるのか…周りの方に相談しながら考えていこうと思います。今後のとてもとても大きな課題です。

私たちの支援のかたち

今回の支援は前回と同様に他団体と同じ場所を使っただけの支援でした。その中で私たちは「ライオン学校」のルールや雰囲気とうまく行うことが出来ませんでした。私たちがしっかりしなければならなかったのに、どっちつかずな状況に陥ってしまった時間がありました。今回の反省を踏まえ、私たち大学生チームの【軸】を子供と話す・遊ぶことを大切にするというかたちに再設定しました。1回目の時は様子を見に行くことが目的でしたが、これからはこの軸に則って、子供たちに会いに行きたいと思います。

寄付を頂いた方(4月1日～5月31日)敬称略

清水いく江、桜井千夏、増山博丈、苅谷夏子、下新原なつみ

支援メンバー 今井美里、古浦新司、大林沙紀(東京理科大学学生)下新原なつみ(大野原小学校)

！寄付のお願い！ 万石浦への移動がバス+電車となったため、交通費が必要です!継続的な支援のために、お願い致します。ご寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

連絡先:〒270-0101 千葉県流山市東深井 33-4

Ridai 古谷メゾン 201 号室

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com